



さいたま市立大宮南中学校

わかとり

学校教育目標

輝く個性 夢きらり

学校だより 6月号

令和7年5月30日（金）発行

〒330 - 0834

さいたま市大宮区天沼町2-362

TEL 641-1142 FAX 641-5356

自分も周りの人も大切にすること

校長 亀井 隆 司

だんだんと梅雨に近づいているためか、暑い日があれば肌寒い日もあり、体にこたえそうな天候となっております。風邪の症状で学校を休む生徒も散見されます。皆様におかれましてもお体を大切にお過ごしください。今、大宮南中学校では生徒たちが勉強や行事準備に取り組み、また3年生最後の大会となる学校総合体育大会に向けて各部活動とも精一杯取り組んでいるところです。

さて、さいたま市では新しい環境で起きる諸問題が顕在化しがちな6月を「いじめ撲滅強化月間」と位置付けています。本校でも「さいたま市立大宮南中学校いじめ防止基本方針」に即して、いじめを絶対に許さない、見過ごさない体制づくりに取り組むとともに、誰もが温かい心をもって人と接し、自分自身も隠さずに表現でき、仲間と気持ちよく生活できるようにしたいと願っています。ここで、大正時代末期から昭和時代初期にかけて活躍した詩人、金子みすゞさんの「わたしと小鳥とすずと」を紹介します。

わたしと小鳥とすずと

わたしが両手をひろげても、 お空はちっともとべないが、

とべる小鳥はわたしのよう^{じべた}に、 地面をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、 きれいな音はでないけど、

あの鳴るすずはわたしのよう^{じべた}に たくさんうたはしらないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、 みんなちがって、みんないい。

出典 金子みすゞ童謡集 わたしと小鳥とすずと (JULA 出版局)

この詩は、「わたし」の個性を認めながら、わたし以外の「小鳥」や「すず」に表されている他者の多様性も認めています。私は学校生活をはじめとするどのような場面であっても、「自分のよさを認識しながら自分自身を大切にし、周りの人に対してもよさを認識（理解）しながら大切にすること」が重要であると考えます。私たちは、心の中に気が付かない間に染み込ませたものの見方や考え方があります。今月はそれらを振り返り、見た目や行い、考え方の違いから無意識のうちに生まれる差別や「そうあるべきだ」、「そうすべきだ」といった固定観念を振り払って生活していければと思います。そして、このいじめ撲滅強化月間だけに限らず、「自分も周りの人も大切にすること」南中生であってほしいと願っています。

5月31日（土）から学校総合体育大会が始まります。ご多用の中とは存じますが、全力で頑張る南中生を応援していただければ幸いです。

なお、大会会場により駐車場の有無や約束事などが違います。ご不明な点等ありましたら各部顧問までお問い合わせください。